

平成 27 年度

事 業 報 告 書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

学校法人 聖和学園

## 1 法人の概要

### (1) 建学の精神

本学園は一宗一派によらない仏教を教育の理念とし、宗教的情操の涵養に重きをおき、知育、体育、徳育の養成に努めることを教育の方針としている。宗教の授業や仏教行事を通し、釈尊の教えを心の糧として人格の陶冶と勉学に励むことを目的とする学園である。

本学園は、昭和5年宮城県仏教会の仏教精神による高等女学校設立の発願により、仏教的情操教育を建学の精神とし、開校以来80有余年の伝統と歴史をもつ女子教育機関として、その社会的使命を果たしてきた。しかしながら、時代の趨勢を考慮し、平成15年度から男女共学化を実施した。現在は幼稚園、高等学校、短期大学を擁し、一貫教育を目指している。

## (2) 学校法人の沿革

昭和 4 年 (1929 年)

4 月 宮城県仏教会発足、仏教精神による高等女学校設立を計画

9 月 学校設立基金として吉田つぎ女史の篤志寄付を受ける

昭和 5 年 (1930 年)

3 月 伊澤平左衛門を設立者として、高等女学校令により開校認可

校名「吉田高等女学校」、校長 木村匡、総定員 400 名

昭和 11 年 (1936 年)

3 月 「財団法人吉田高等女学校」となる (初代理事長 伊澤平馬)

昭和 14 年 (1939 年)

4 月 「吉田専修女学園」設置 (修業年限 1 年)

昭和 19 年 (1944 年)

3 月 「吉田専修女学園」廃止

昭和 23 年 (1948 年)

4 月 「聖和学園」と改称。「吉田高等学校」、「吉田中学校」併設

昭和 26 年 (1951 年)

2 月 「学校法人聖和学園」設置

4 月 「聖和学園短期大学」開設 (国文科、被服科)

昭和 29 年 (1954 年)

4 月 「聖和幼稚園」開設

昭和 38 年 (1963 年)

4 月 短期大学に保育科開設

昭和 46 年 (1971 年)

4 月 法人本部事務局設置

昭和 54 年 (1979 年)

3 月 「吉田中学校」廃校

昭和 61 年 (1986 年)

4 月 「吉田高等学校」を「聖和学園高等学校」に校名変更

昭和 63 年 (1988 年)

4 月 「聖和学園短期大学」移転 (仙台市南中山 5 丁目 5 - 2)

平成 5 年 (1993 年)

4 月 短期大学「被服科」を「生活文化科」へ学科名変更

平成 11 年 (1999 年)

7 月 短期大学の定員 250 名認可

平成 15 年 (2003 年)

4 月 短期大学「国文科」の募集を停止し、「人間コミュニケーション学科」設置  
高等学校を男女共学化し、「薬師堂キャンパス」新築移転、「三神峯キャンパス」設置

平成 17 年 (2005 年)

4 月 短期大学「人間コミュニケーション学科」、「生活文化科」の募集を停止し、  
「キャリア開発総合学科」設置

平成 19 年 (2007 年)

4 月 短期大学の「保育科」の募集を停止し、「保育福祉学科」設置

## (3) 設置する学校の内容

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員(a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数(b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員(d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H17)	130	156	143	139	106.9	260	307	118.1
	保育福祉学科	(H19)	120	260	129	128	106.7	240	252	105.0
	短期大学(計)	S26	250	416	272	267	106.8	500	559	111.8
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	390	2,734	2,455	508	130.3	1,200	1,392	116.0
	(三神峯キャンパス)	(H15)	190	764	717	181	95.3	600	561	93.5
	高等学校(計)	S23	580	3,498	3,172	689	118.8	1,800	1,953	108.5
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	100	84	84	84	84.0	300	245	81.7

(参考) 平成 28 年度の状況

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員(a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数 (b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員(d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H17)	(130)					130	143	110.0
	キャリア開発総合学科	(H28)	160	161	160	155	96.9	160	155	96.9
	保育福祉学科	(H19)	(120)					120	126	118.9
	保育学科	(H28)	90	253	108	107	118.9	90	107	105.0
	短期大学 (計)		250	414	268	262	104.8	500	531	106.2
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	390	2,511	2,288	449	115.1	1,200	1,405	117.1
	(三神峯キャンパス)	(H15)	190	767	794	198	104.2	600	555	92.5
	高等学校 (計)	S23	580	3,278	3,082	647	111.6	1,800	1,960	108.9
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	100	85	85	79	79.0	300	245	81.6

## (4) 役員概要

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

## ① 理事

定員数 (10~13 名) 現員 (10 名)

区 分	氏 名	勤務区分	現 職	住 所
理 事 長	スズキ シゲオ 鈴木 繁雄	非常勤	会社役員	仙台市
常務理事	チバ ノブヒロ 千葉 信博	常 勤	学校法人監事	仙台市
理 事	ナルミ ワタル 鳴海 渉	常 勤	短期大学学長	仙台市
理 事	トイ シュウイチ 戸井 秀一	常 勤	高等学校校長	仙台市
理 事	ナガヤマ ノブキ 永山 伸樹	常 勤	幼稚園園長	仙台市
理 事	イノマタ ジュンイチ 猪又 淳一	常 勤	法人事務局長	仙台市
理 事	キムラ アキヨ 木村 昭代	常 勤	短期大学副学長	仙台市
理 事	カマタ トシヒロ 鎌田 智裕	非常勤	学校法人役員	仙台市
理 事	コンノ アツシ 今野 敦之	非常勤	会社役員	仙台市
理 事	アベ カンクロウ 阿部 勘九郎	非常勤	会社役員	塩釜市

## ② 監事

定員数 (3 名) 現員 (3 名)

区 分	氏 名	勤務区分	現 職	住 所
監 事	コンノ マモル 今野 守	非常勤	会社役員	仙台市
監 事	ワタライ コウジュン 渡会 弘純	非常勤	無職	富谷町
監 事	イヌカイ ヤスハル 犬飼 泰治	非常勤	会社役員	仙台市

## (5) 評議員の概要

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

定員数 (21 名～39 名) 現員 (30 名)

氏 名	主な現職等	氏 名	主な現職等
鈴木 繁雄	理事長	小岩 透	会社員
千葉 信博	常務理事	赤井澤 孝子	会社役員
鳴海 渉	理事	及川 澄子	無職
戸井 秀一	理事	佐久間美江子	無職
永山 伸樹	理事	菅原 幸枝	高等学校教諭
猪又 淳一	理事	高城 弘子	無職
木村 昭代	理事	狭間 美枝子	無職
今野 敦之	理事(会社役員)	鎌田 文恵	学校法人役員
阿部 勘九郎	理事(会社役員)	大和田 槿子	無職
鎌田 智裕	理事(学校法人役員)	吉田 憲三郎	無職
松村 万里子	短期大学教授	金山 富彦	宗教法人役員
宮東 幸七	短期大学事務部長	真田 昌行	弁護士
庄司 伸一	高等学校副校長	大宮司 慎一	高等学校職員
佐々木 弘	高等学校事務長	高橋 誠也	弁護士
本田 勝博	団体職員	星 尚文	宗教法人役員

## (6) 教職員の概要

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

部 門	区 分	教 員	職 員	合 計
法人事務局	本 務	0	7	7
	非常勤・兼務	0	0	0
	計	0	7	7
短期大学	本 務	27	16	43
	非常勤・兼務	111	4	115
	計	138	20	158
高等学校	本 務	109	11	120
	非常勤・兼務	47	16	63
	計	156	27	183
幼稚園	本 務	13	1	14
	非常勤・兼務	5	3	8
	計	18	4	22
合 計	本 務	149	35	184
	非常勤・兼務	163	23	186
	計	312	58	370

## 2 事業の概要

本学園は、平成18年度より第一次長期経営計画（平成18年度～20年度）、第二次長期経営計画（平成21年度～23年度）、第三次長期経営計画（平成24年度～26年度）を策定しその推進を行ってきた。

平成27年度は、前年度で第三次長期経営計画が完了したことから、その成果と課題をふまえ、第四次長期経営「『Step!』～未来を見据え着実な前進を～」（平成27年度～30年度）を策定しその推進を図ることとした。

第四次長期経営計画では基本方針を、選ばれる学校を目指し、「教育・研究の質（教職員の資質向上・教育施設の充実等）」を向上させるとともに、安定した「経営基盤（学生・生徒数の確保・財務の健全性維持）」を確立し、地域の中核校としての存在感を発揮することと定め、少子高齢化の進展、社会格差の拡大、グローバル化・高度情報化の進展等の経営環境の変化や家庭と教育機関の役割の変化、若年層の意識の変化、さらには学校教育法、私立学校法等の法律改正に対応するため、S (Solution) 課題を一つ一つ解決し、T (Tactics) 戦略をもって、E (Evolution) 絶えず進化・発展に挑戦する、P (Pleasure) 学生・生徒と教職員が互いに成長の喜びを分かち合える学校を目指すものとした。

### (1) 学校法人聖和学園

#### ①組織の管理・運営

##### A. 諸規程の整備

現状の諸規程の見直しを行い、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に対応し、既に制定されていた個人情報保護規程の内容を包含した「情報セキュリティ規程」を制定した。また、諸規程の新設、改廃を行い、組織体制の整備を行った。

##### B. 寄附行為の変更

平成28年4月の短期大学の改組に伴い寄附行為の変更を行うとともに、私立学校法人の業務運営の円滑化の観点から評議員の選任区分毎の人員数の見直し、役員・評議員の定年・退任時期の明確化を図った。

##### C. 教職員のレベル向上

若手・中堅の教育職員の指導能力向上と自己の教育分野における研修・研究の推進や論文作成の推進のため「教育職員『教育・研究』推進助成制度」を創設したほか、教職員の各種資格取得を推進するため「自己啓発資格取得奨励金制度」を創設した。

##### D. 学校法人における会計処理等の適正確保への対応

学校法人の不適切な経理処理を防止し学校法人における会計処理等の適正を確保するため、従来いわゆる周辺会計として取り扱っていた会計について、学校会計に取り込み会計処理をより適正に行うよう変更した。

#### ②内部統制の強化

##### A. 内部監査室による監査の実施

平成26年4月1日付で理事長直轄の独立した組織として内部監査室を設置し、各部門が法令および各種規程等に沿った業務運営がなされているか検証を行った。

## B. 監事監査の実施

本学園の監事 3 名が本学園各部門の業務監査ならびに会計監査を実施している。理事会・評議員会をはじめとした各種会議への出席のほか、各種帳票等の閲覧、会計監査人との意見交換等を通じ、各部門の業務運営の適切性を検証している。

### ③広報活動の充実

- ・ 仙台市地下鉄東西線開業に伴い最寄駅である地下鉄薬師堂駅の副駅名を「聖和学園前」とし、駅名のアナウンス、案内板への表示等により地下鉄利用者に対する広報を強化した。

## (2) 聖和学園短期大学

### ① 3 つの方針、教育目標、学修成果の見直し

- ・ 「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」(中央教育審議会答申)に対応し、3 つの方針(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)の見直しを行った。また、各々のポリシーと密接に関連する教育目的・教育目標および学修成果も見直すとともに、ディプロマポリシーにリンクする授業科目と能力との関連を分かりやすく示した履修系統図を全学科において作成した。

### ②教育活動

#### A. 改組にかかる基本計画書の提出、教職課程の認定

28 年 4 月から、保育者養成の充実・強化を図るため保育福祉学科を保育学科に、キャリア開発総合学科に介護福祉士養成課程を編入する学科の付加価値を高める改組を実施するため、二学科について「学科設置届出書」を提出し、受理された。また 11 月には、27 年 3 月の保育学科「教職課程認定申請書」について、教職課程認定を受けた。

#### B. 学長裁量経費の創設

本学の建学の精神に基づく教育研究の活性化や、学長のリーダーシップの一層の高揚を図るため、各学科の申請に基づき学長が事業内容を判断し実施する学長裁量経費制度を創設した。

#### C. 規程の整備

「科研費等の不正使用防止に関する基本方針」「学生の処分に関する規程」制定等ガイドライン又は学校教育法施行規則改正に伴う関連規程を整備した。

#### D. アクティブラーニング、eラーニングシステムの導入

アクティブラーニングの教室整備の他、eラーニング自修システム「桜サクE-RUN!」を導入し学生の自修を支援した。入学前後の基礎学力定着・向上が目的の基礎コースのほか、就職選考試験対策や社会人として必要な知識や教養を学修することのできる一般常識対策コース、SPI対策コースも整備し学生の多様な自修ニーズに対応した。

#### E. 「保育士資格取得特例講座」の開設

昨年度に引き続き幼稚園教諭免許のみを有する保有者を対象に、保育士資格の取得を目的とした「保育士資格取得特例講座」を開講した。(7月～8月開催)

### ③学生支援

#### A. 修学支援制度の拡充

「聖和学園修学支援制度」に基づき、東日本大震災により被災した学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、入学金、検定料や授業料の免除等を継続して行った。

また、所定の各種資格を取得した学生に対し、資格取得奨励金を支給するなど修学支援を拡充した。

#### B. 進路支援の充実

教職員一体となった学生の進路支援を行った結果、平成 27 年度の進路決定率は全体で 98.2%となり極めて高い水準となった。特に保育専攻では 12 年連続して 100%を維持し、介護福祉専攻でも 100%の進路決定率となった。

進路先では公務員、金融関係への就職のほか地元優良企業、施設等への正職員としての就職が目立った。求人もサービス・営業関連、保育関連が増加したほか、特に県内からの求人が増加した。公務員合格者も高い水準を維持した。

C. カリキュラムの充実

地(知)の拠点大学による地域創生推進事業(COC+)である「みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成」事業に参加し、地域、産業界、自治体、大学と協働で地域高度人材の育成と地域の課題発見・解決に取り組んだほか、教育目標の一つである「職業及び実生活に必要な能力育成」を実践し、宮城県におけるコミュニティカレッジとしての役割を果たした。

D. オープンキャンパス等の継続開催

オープンキャンパスを3回開催したほか、学科毎にウエルカムキャンパスを開催し、パンフレットだけではわからない短期大学の雰囲気や実際のキャンパスライフを広く公開した。

⑤地域への貢献・地域との連携

A. 地域行事等への参加

将監さくらまつり(4月)、新緑祭(4月)、泉環境祭(5月)、みやぎ夢燈花(9月)、泉ヶ岳悠・遊フェスティバル(9月)、将監地区「ふれあい健康まつり」(10月)、仙台光のページェント(12月)など各種地域行事にすずめ踊りやハンドベル、YOSAKOIチームが参加するなど、積極的な活動を行った。

B. 地域との連携

いずみ絆プロジェクトへの参画(YOSAKOI、介護専攻ボランティア活動)により地域との連携を強化するとともに、「聖和総合教育」の一環として本学周辺の清掃活動を実施した。

(3) 聖和学園高等学校(薬師堂キャンパス、三神峯キャンパス)

①教育活動

A. ICT(情報通信技術)による教育活動

薬師堂・三神峯両キャンパスの共通事業として、タブレット型端末を複数台導入し、授業内でのデジタル資料(動画等)の活用を図った。

また、先進的なICT教育活動の一環として、生徒の学習支援を目的とした「聖和ポータルサイト」の本格運用に取り組んだ。「聖和ポータルサイト」は平成27年4月から稼働したが、開発段階においては文部科学省の私立高等学校等IT教育設備整備推進事業として助成金の対象となった。

B. 国際交流の積極的推進

アメリカメイン州のホールデール高校(Hall-Dale High School)への訪問研修を実施し、2週間のホームステイと学校訪問を行った。併せて同高校と姉妹校提携を締結し、同世代の外国人との日本語以外での相互コミュニケーションや多様な価値観に触れる機会を確保し、学校教育を通じた国際的視野の涵養や異文化理解促進を図った。

C. 課外活動への取組み

学習活動以外の課外活動にも力を入れており、各種スポーツで顕著な成績をあげている。

\*主な部活動実績（平成 27 年度 県大会準優勝以上）

部活動名	結 果
バスケットボール (女子)	宮城県高校バスケットボール選手権 優勝
ハンドボール	男子：宮城県高校新人大会 優勝 女子：宮城県高校総体 優勝 宮城県高校新人大会 優勝
サッカー (男子)	東北高校選手権大会 準優勝 全日本高校サッカー選手権大会出場
サッカー (女子)	東北高校サッカー選手権大会 優勝 全日本高校女子サッカー選手権大会 準優勝 全日本女子サッカー選手権東北大会 準優勝
新 体 操	東北高校選手権大会 準優勝
弓 道	宮城県高校総体 優勝
卓 球 (女子)	宮城県高校新人大会 優勝 宮城県高校新人大会 女子ダブルス・シングルス 優勝
空 手 道	東北高校選手権大会 個人優勝
バレーボール (女子)	東北高校選手権大会 3 位
ソフトテニス	東北高校インドア大会個人選手権 優勝
ソフトボール	宮城県高校総体 優勝
水 泳	宮城県高校新人大会 400m自由型 優勝
フットサル	全日本ユース東北大会 準優勝
硬式テニス	宮城県高校新人大会 優勝
チアリーディング	日本選手権東北地区大会 優勝
陸上競技部	宮城県高校新人大会 800m 優勝

②進路指導および実績

A. 3年間を見据えた進路指導の実施

薬師堂・三神峯両キャンパスともに、高校生活3年間を見据えた進路指導を実施している。ホームルームや総合の時間を利用し、進路ガイダンスを行うとともに、インターンシップや職場見学、看護体験など体験型の進路学習を取入れ、職業理解を通じて生徒が将来の目標をより明確にできるような工夫を行っている。

B. 進学実績

平成27年度卒業生の進路は以下のとおりとなっている。

薬師堂キャンパス・・・国公立大学4名、私立大学142名、短期大学42名

三神峯キャンパス・・・国公立大学1名、私立大学105名、短期大学5名

③生徒募集

A. 県内中学校との連携強化

各教員に担当中学校を割り振り、中学校訪問を実施した。

また、中学校での進路説明会や進路講演会への講師派遣を行ったほか、中学生の学校訪問受入れ等、積極的な募集活動を実施した。

B. オープンキャンパスの継続開催

学校案内等印刷物の内容・デザインを工夫するなどして広報に努めた結果、オープンキャンパスへの参加者数は前年比21名の増加となった。

#### ④施設整備

##### A. 薬師堂キャンパス通用門整備

27年12月の仙台市地下鉄東西線開業に合わせ、地下鉄薬師堂駅から薬師堂キャンパスに直結する通用門を整備し、生徒の通学等の利便性の向上を図った。

##### B. 三神峯キャンパス校庭整備

三神峯キャンパスの校庭を全面人工芝とし、体育教育の充実、課外活動の積極的支援を行った。

#### (4) 聖和幼稚園

##### ①園児数確保に向けた取組み

##### A. 預かり保育の実施

早朝保育(7時30分～8時30分)や延長保育(～18時)の実施により、仕事を持つ若い保護者家庭の支援を行っている。

##### B. 未就園児へのアプローチ

子育て支援事業として、「すくすくくらぶ」や「すくすく広場」を継続開催したほか、公開保育や運動会等の行事に招待した。この結果「すくすくくらぶ」「すくすくひろば」の在籍者79名のうち30名(昨年度34名)が平成28年度に入園申込みを行った。

##### C. 広報体制の充実

ホームページにおいて各種行事や公開保育の情報等について随時更新を行った。

##### ②教育活動

##### A. 仏教保育の充実

仏教三大行事(花まつり・成道会・涅槃会)や勤行等、また日常の園活動を通した中で、仏教精神の教育を継続して実施している。

##### B. 英語教室の実施

英語教育のニーズの高まりに対応し、平成20年から英語教室を実施している。平成27年度は年長児8回、年中児9回、年少児4回実施した。今後、回数・時間の増加を検討していく。

##### C. 園外保育

園外保育の一環として、ちびっこ農園や遠足等を行った。さつまいもの栽培や団体行動、自然とのふれあいを通じ、収穫のよろこびや公共のマナーを学ぶよい機会となっている。

##### D. お泊まり保育

年長児を対象としてお泊り保育を実施している。自立心の養成に役立ったほか、友達と協働で生活したことにより、学びを深める体験教育となっている。

##### E. 施設整備

園児の生物に対する意識を高めことを目的に園児の興味関心を集めるビオトープを設置した。

##### ③地域との連携

##### ・ 地域との連携

地域住民の皆様の協力により、園行事(夏祭り、バザー、ポスター掲示など)を行っている。

### 3 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ① 貸借対照表の状況

(資産の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
資産	固定資産	11,419,437,190	11,447,307,570	△ 27,870,380
	有形固定資産	9,534,489,356	9,563,098,870	△ 28,609,514
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	0
	建物	4,548,484,186	4,664,051,089	△ 115,566,903
	その他の有形固定資産	876,831,766	789,874,377	86,957,389
	特定資産	1,882,444,618	1,882,444,618	0
	退職給与引当特定資産	137,961,953	150,330,933	△ 12,368,980
	減価償却引当特定資産	1,246,953,221	1,246,953,221	0
	施設設備引当特定資産	497,529,444	485,160,464	12,368,980
	その他の固定資産	2,503,216	1,764,082	739,134
	流動資産	1,442,745,311	1,492,491,862	△ 49,746,551
	現金預金	1,283,686,365	1,367,750,387	△ 84,064,022
	その他の流動資産	159,058,946	124,741,475	34,317,471
合計	12,862,182,501	12,939,799,432	△ 77,616,931	

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
負債	固定負債	956,491,953	1,113,300,933	△ 156,808,980
	長期借入金	818,530,000	962,970,000	△ 144,440,000
	退職給与引当金	137,961,953	150,330,933	△ 12,368,980
	流動負債	764,978,060	781,717,755	△ 16,739,695
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	0
	その他の流動負債	620,538,060	637,277,755	△ 16,739,695
合計	1,721,470,013	1,895,018,688	△ 173,548,675	
基本金	第1号基本金	13,322,469,365	13,104,049,530	218,419,835
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	0
	合計	13,491,469,365	13,273,049,530	218,419,835
繰越収支差額	翌年度繰越消費収支差額	△ 2,350,756,877	△ 2,228,268,786	△ 122,488,091
	合計	△ 2,350,756,877	△ 2,228,268,786	△ 122,488,091
純資産の部合計		11,140,712,488	11,044,780,744	95,931,744
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		12,862,182,501	12,939,799,432	△ 77,616,931

#### 貸借対照表の概要

平成27年度末の本学園の総資産額は128億円となり、前年対比77百万円の減少となった。「固定資産」は校庭人工芝化等の新規取得による増加(2億4百万円)とその他の除却による減少額(2百万円)および当年度減価償却額による減少(2億31百万円)との差異(27百万円)が減少した。また、流動資産では、現金預金の前年比減少(84百万円)と未収入金増加等により合計49百万円が減少した。

②収支計算書の状況

ア.資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,679,708,000	1,680,814,020	△ 1,106,020
手数料収入	47,825,000	46,420,900	1,404,100
寄付金収入	4,470,000	6,241,413	△ 1,771,413
補助金収入	797,448,000	801,355,614	△ 3,907,614
国庫補助金収入	106,425,000	103,996,000	2,429,000
地方公共団体補助金収入	691,023,000	697,359,614	△ 6,336,614
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	115,013,000	107,218,984	7,794,016
受取利息・配当金収入	2,646,000	3,068,873	△ 422,873
雑収入	152,769,000	155,644,430	△ 2,875,430
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	320,668,000	318,029,863	2,638,137
その他の収入	1,095,514,000	1,333,906,200	△ 238,392,200
資金収入調整勘定	△ 478,739,000	△ 455,316,625	△ 23,422,375
前年度繰越支払資金	1,367,750,387	1,367,750,387	0
資金収入の部合計	5,105,072,387	5,365,134,059	△ 260,061,672

(資金支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,625,265,000	1,595,075,078	30,189,922
教育研究経費支出	602,470,000	566,304,392	36,165,608
管理経費支出	350,891,000	308,290,289	42,600,711
借入金等利息支出	14,490,000	14,489,910	90
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	0
施設関係支出	177,310,000	172,578,551	4,731,449
設備関係支出	30,986,000	32,401,870	△ 1,415,870
資産運用支出	88,972,000	47,516,959	41,455,041
その他支出	1,168,698,000	1,358,287,890	△ 189,589,890
(予備費)	(85,000)		
	49,915,000		49,915,000
資金支出調整勘定	△ 205,146,000	△ 157,937,245	△ 47,208,755
翌年度繰越支払資金	1,056,781,387	1,283,686,365	△ 226,904,978
資金支出の部合計	5,105,072,387	5,365,134,059	△ 260,061,672

資金収支計算書の概要

本年度の資金収支における実収入額(収入の部合計から前年度繰越支払資金を減じた額)は、39億97百万円で予算(37億37百万円)比2億60百万円の増加となった。学生生徒納付金等の主要科目は、ほぼ予算どおりであったが、その他の収入にて預り金会計を学校会計に繰入れたことによる増加が要因に挙げられる。

一方、実支出額(支出の部合計から翌年度繰越支払資金を減じた額)は、40億81百万円で予算を33百万円超過したものの「教育研究経費支出」等の主要科目では予算額以下の執行となった。

実収入と実支出の差異は、84百万円の支出超過となり、年度末保有支払資金は、26年度末の13億67百万円から減少し12億83百万円となった。

1.事業活動収支計算書

(単位:円)

	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	1,679,708,000	1,680,814,020	△ 1,106,020
	手数料	47,825,000	46,420,900	1,404,100
	寄付金	4,034,000	6,866,557	△ 2,832,557
	経常費等補助金	796,023,000	799,930,614	△ 3,907,614
	国庫補助金	105,000,000	102,571,000	2,429,000
	地方公共団体補助金	691,023,000	697,359,614	△ 6,336,614
	付随事業収入	115,013,000	107,218,984	7,794,016
	雑収入	152,769,000	155,500,330	△ 2,731,330
	教育活動収入計	2,795,372,000	2,796,751,405	△ 1,379,405
	人件費	1,627,536,000	1,582,706,098	44,829,902
	教育研究経費	804,249,000	775,926,342	28,322,658
	管理経費	372,030,000	329,806,996	42,223,004
	徴収不能額等	654,000	191,000	463,000
	教育活動支出計	2,804,469,000	2,688,630,436	115,838,564
	教育活動収支差額	△ 9,097,000	108,120,969	△ 117,217,969
	受取利息・配当金	2,646,000	3,068,873	△ 422,873
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,646,000	3,068,873	△ 422,873
	借入金等利息	14,490,000	14,489,910	90
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外収入計	14,490,000	14,489,910	90
	教育活動外収支差額	△ 11,844,000	△ 11,421,037	△ 422,963
	経常収支差額	△ 20,941,000	96,699,932	△ 117,640,932
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	2,025,000	2,065,900	△ 40,900
	特別収入計	2,025,000	2,065,900	△ 40,900
	資産処分差額	2,159,000	2,158,627	373
	その他の特別支出	507,000	675,461	△ 168,461
	特別支出計	2,666,000	2,834,088	△ 168,088
	特別収支差額	△ 641,000	△ 768,188	127,188
	(予備費)	(128,000)		
		49,872,000		49,872,000
	基本金組入前当年度収支差額	△ 71,454,000	95,931,744	△ 167,385,744
	基本金組入額合計	△ 221,498,000	△ 218,419,835	△ 3,078,165
	当年度収支差額	△ 292,952,000	△ 122,488,091	△ 170,463,909
	前年度繰越収支差額	△ 2,228,268,786	△ 2,228,268,786	0
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 2,521,220,786	△ 2,350,756,877	△ 170,463,909
(参考)				
	事業活動収入計	2,800,043,000	2,801,886,178	△ 1,843,178
	事業活動支出計	2,871,497,000	2,705,954,434	165,542,566

事業活動収支計算書

当年度収支差額は1億22百万円の支出超過で、予算(△2億92百万円)比は、1億70百万円の支出超過幅の減少となった。要因は、予備費(50百万円)執行がわずかであったこと、規程改正等による人件費の減少、また経費支出も光熱水費の減少を含み予算対比大きく減少することとなった。

経常収支差額は96百万円の収入超過となり、予算(△20百万円)対比1億17百万円の差異となった。また基本金組入額もほぼ計画通りであった。

## (2) 経年比較

## ①貸借対照表

(資産の部)

(単位:円)

科目		25年度	26年度	27年度
資産	固定資産	11,517,837,047	11,447,307,570	11,419,437,190
	有形固定資産	9,681,996,921	9,563,098,870	9,534,489,356
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	4,109,173,404
	建物	4,784,464,428	4,664,051,089	4,548,484,186
	その他の有形固定資産	788,359,089	789,874,377	876,831,766
	特定資産	1,834,031,314	1,882,444,618	1,882,444,618
	退職給与引当特定資産	147,917,629	150,330,933	137,961,953
	減価償却引当特定資産	1,200,953,221	1,246,953,221	1,246,953,221
	施設設備引当特定資産	485,160,464	485,160,464	497,529,444
	その他の固定資産	1,808,812	1,764,082	2,503,216
	流動資産	1,481,377,931	1,492,491,862	1,442,745,311
	現金預金	1,268,945,874	1,367,750,387	1,283,686,365
	その他の流動資産	212,432,057	124,741,475	159,058,946
合計	12,999,214,978	12,939,799,432	12,862,182,501	

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

科目		25年度	26年度	27年度
負債	固定負債	1,256,391,699	1,113,300,933	956,491,953
	長期借入金	1,107,410,000	962,970,000	818,530,000
	退職給与引当金	147,917,629	150,330,933	137,961,953
	長期未払金	1,064,070	0	0
	流動負債	793,767,091	781,717,755	764,978,060
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	144,440,000
	その他の流動負債	649,327,091	637,277,755	620,538,060
合計	2,050,158,790	1,895,018,688	1,721,470,013	
基本金	第1号基本金	13,047,253,493	13,104,049,530	13,322,469,365
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	169,000,000
	合計	13,216,253,493	13,273,049,530	13,491,469,365
繰越収支差額	翌年度繰越消費収支差額	△ 2,267,197,305	△ 2,228,268,786	△ 2,350,756,877
	合計	△ 2,267,197,305	△ 2,228,268,786	△ 2,350,756,877
純資産の部合計		10,949,056,188	11,044,780,744	11,140,712,488
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		12,999,214,978	12,939,799,432	12,862,182,501

注)平成25、26年は、平成27年度様式に準じ組替を行った。

②収支計算書

ア.資金収支計算書 三ヵ年比較

(資金収入の部)

科目	25年度	26年度	27年度
学生生徒等納付金収入	1,496,659,019	1,634,547,352	1,680,814,020
手数料収入	49,133,800	49,354,100	46,420,900
寄付金収入	4,696,860	4,448,220	6,241,413
補助金収入	785,305,146	787,190,601	801,355,614
国庫補助金収入	127,614,000	113,275,000	103,996,000
地方公共団体補助金収入	657,691,146	673,915,601	697,359,614
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	108,576,100	108,808,441	107,218,984
受取利息・配当金収入	2,891,587	2,949,649	3,068,873
雑収入	203,118,666	90,207,801	155,644,430
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	356,442,763	338,531,363	318,029,863
その他の収入	1,053,530,322	1,297,806,763	1,333,906,200
資金収入調整勘定	△ 507,129,184	△ 439,566,996	△ 455,316,625
前年度繰越支払資金	1,181,336,010	1,268,945,874	1,367,750,387
資金収入の部合計	4,734,561,089	5,143,223,168	5,365,134,059

(資金支出の部)

科目	25年度	26年度	27年度
人件費支出	1,580,903,845	1,501,949,649	1,595,075,078
教育研究経費支出	484,893,475	553,365,188	566,304,392
管理経費支出	254,601,450	280,259,387	308,290,289
借入金等利息支出	18,533,350	16,511,630	14,489,910
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	144,440,000
施設関係支出	8,278,024	53,214,724	172,578,551
設備関係支出	90,189,764	54,415,770	32,401,870
資産運用支出	62,222,696	83,664,487	47,516,959
その他支出	1,053,114,213	1,294,656,032	1,358,287,890
(予備費)			
資金支出調整勘定	△ 231,531,602	△ 207,004,086	△ 157,937,245
翌年度繰越支払資金	1,268,945,874	1,367,750,387	1,283,686,365
資金支出の部合計	4,734,591,089	5,143,223,168	5,365,134,059

注)平成25、26年は、平成27年度様式に準じ組替を行った。

イ.事業活動収支計算書 三ヵ年比較表

(単位:円)

	科目	25年度	26年度	27年度
	学生生徒等納付金	1,496,659,019	1,634,547,352	1,680,814,020
	手数料	49,133,800	49,354,100	46,420,900
	寄付金	6,155,649	8,825,669	6,866,557
	経常費等補助金	779,567,146	780,596,601	799,930,614
	国庫補助金	127,060,000	106,681,000	102,571,000
	地方公共団体補助金	652,507,146	673,915,601	697,359,614
	付随事業収入	108,606,100	108,808,441	107,218,984
	雑収入	203,118,666	90,277,801	155,500,330
	教育活動収入計	2,643,240,380	2,672,409,964	2,796,751,405
	人件費	1,583,786,181	1,504,362,953	1,582,706,098
	教育研究経費	690,873,269	755,642,478	775,926,342
	管理経費	271,014,536	300,948,922	329,806,996
	徴収不能額等	612,000	709,175	191,000
	教育活動支出計	2,546,285,986	2,561,663,528	2,688,630,436
	教育活動収支差額	96,954,394	110,746,436	108,120,969
	受取利息・配当金	2,891,587	2,949,649	3,068,873
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,891,587	2,949,649	3,068,873
	借入金等利息	18,533,350	16,511,630	14,489,910
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	18,533,350	16,511,630	14,489,910
	教育活動外収支差額	△ 15,641,763	△ 13,561,981	△ 11,421,037
	経常収支差額	81,312,631	97,184,455	96,699,932
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	5,738,000	6,594,000	2,065,900
	特別収入計	5,738,000	6,594,000	2,065,900
	資産処分差額	1,237,920	8,053,899	2,158,627
	その他の特別支出	0	0	675,461
	特別支出計	1,237,920	8,053,899	2,834,088
	特別収支差額	4,500,080	△ 1,459,899	△ 768,188
	(予備費)			
	基本金組入前当年度収支差額	85,812,711	95,724,556	95,931,744
	基本金組入額合計	△ 98,646,430	△ 56,796,037	△ 218,419,835
	当年度収支差額	△ 12,833,719	38,928,519	△ 122,488,091
	前年度繰越収支差額	△ 2,254,363,586	△ 2,267,197,305	△ 2,228,268,786
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 2,267,197,305	△ 2,228,268,786	△ 2,350,756,877
(参考)				
	事業活動収入計	2,651,869,967	2,681,953,613	2,801,886,178
	事業活動支出計	2,566,057,256	2,586,229,057	2,705,954,434

注)平成25、26年は、平成27年度様式に準じ組替を行った。

## (3) 主な財務比率比較

(単位:%)

比 率	算 式(×100)	25年	26年	27年
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.2%	3.6%	3.4%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	100.5%	98.5%	104.7%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	3.1%	3.6%	3.5%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{事業活動収入}}$	56.4%	60.9%	60.0%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{事業活動収入}}$	59.7%	56.1%	56.5%
人件費依存度率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	105.8%	92.0%	94.2%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{事業活動収入}}$	26.1%	28.2%	27.7%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{事業活動収入}}$	10.2%	11.2%	11.8%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	186.6%	190.9%	188.6%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	18.7%	17.2%	15.5%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総資金}}$	84.2%	85.4%	86.6%

純資産＝基本金+消費収支差額

総資金＝負債+基本金+消費収支差額

(4)借入金の状況

借入金残額: 962,970,000 円

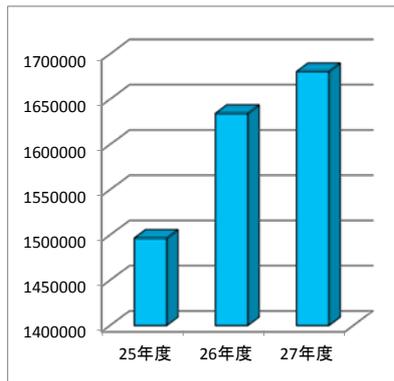
借入先: 日本私立学校・振興共済事業団

## ■グラフによる資料

(単位:千円)

### 1. 学生生徒納付金

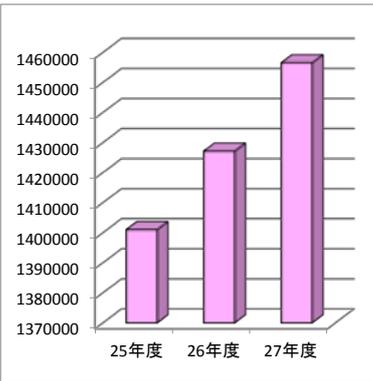
(資金収支: 学生生徒納付金収入)



	25年度	26年度	27年度
学生生徒納付金収入	1,496,659	1,634,547	1,680,814

### 2. 人件費

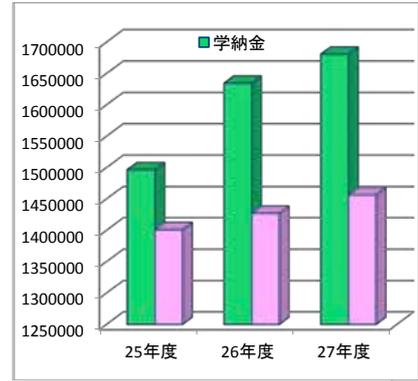
(資金収支: 人件費-退職金は除く)



	25年度	26年度	27年度
人件費	1,401,049	1,427,171	1,456,554

### 3. 学納金対人件費

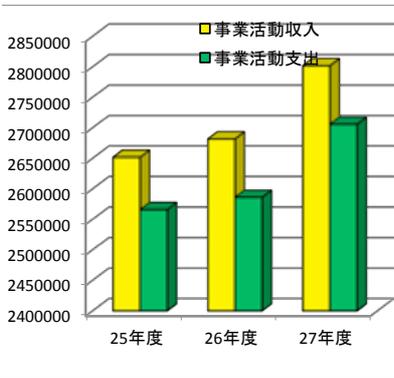
(退職金を除く人件費支出、学納金)



	25年度	26年度	27年度
学納金	1,496,659	1,634,547	1,680,814
人件費	1,401,049	1,427,171	1,456,554

### 4. 事業活動収入(基本金組入前)と支出

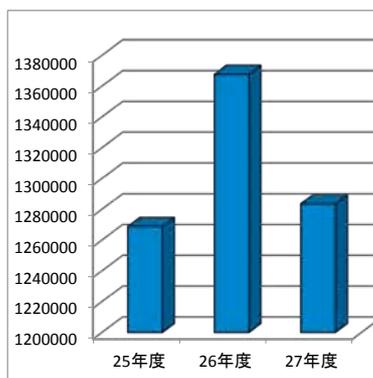
(事業活動収支計算書)



	25年度	26年度	27年度
事業活動収入	2,651,870	2,681,953	2,801,886
事業活動支出	2,566,057	2,586,229	2,705,954

### 5. 手持ち支払資金

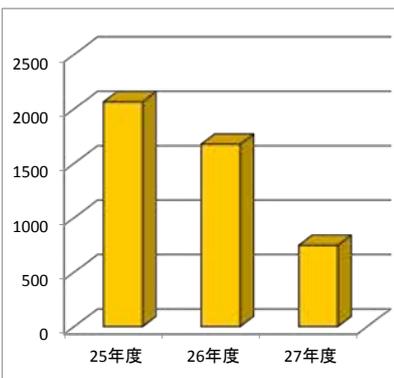
(資金収支: 翌年度繰越支払資金)



	25年度	26年度	27年度
次年度繰越支払資金	1,268,946	1,367,750	1,283,686

### 6. 学生生徒納付金の未収額

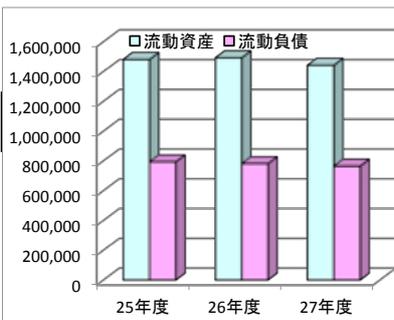
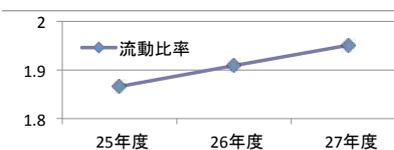
(期末未収入金・学納金関係)



	25年度	26年度	27年度
学納金の未収	2,066	1,677	748

### 7. 流動比率

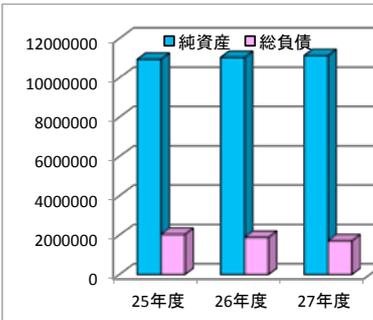
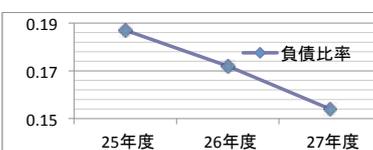
(貸借対照表: 流動資産、流動負債)



	25年度	26年度	27年度
流動比率	186.6%	190.9%	188.6%
流動資産	1,481,378	1,492,492	1,442,745
流動負債	793,767	781,718	764,978

### 8. 負債比率

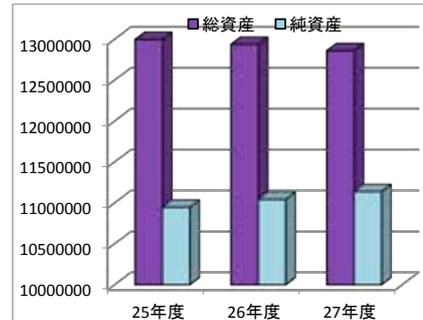
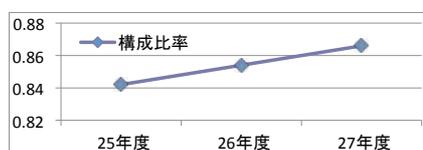
(貸借対照表: 総負債、純資産)



	25年度	26年度	27年度
負債比率	18.7%	17.2%	15.5%
純資産	10,949,056	11,044,781	11,140,712
総負債	2,050,159	1,895,019	1,721,470

### 9. 純資産構成比率

(総資産、純資産)



	25年度	26年度	27年度
構成比率	84.2%	85.4%	86.6%
総資産	12,999,215	12,939,799	12,862,182
純資産	10,949,056	11,044,781	11,140,712